

## 2026年度第1学期ゼミナール

# 「地域で暮らし続けることを考える

## ー暮らしと看護の視点からー」

放送大学客員教員

弘前大学大学院保健学研究科 助教

北嶋 結 先生

### 放送大学ゼミナール概要

本ゼミでは、地域で暮らし続ける人々の生活に目を向け、病気や老い、障がいなどと向き合いながら、どのような判断や選択が重ねられているのかを考えます。

在宅で暮らす子ども・大人・高齢者やその家族、地域で関わる人々の経験をもとに、実践例や研究知見を手がかりとして、暮らしの中にある支えや迷いについて検討します。

受講生自身の生活や地域を振り返りながら、看護の視点から「暮らしを支えること」の意味を考えることを目的とします。

**教科書** 毎回、資料を配布します。

**場 所** 青森学習センター 多目的室①

**日 時** 指定された木曜日 16:00~17:00

- 4月16日 地域・在宅における「生きること」に関する検討
- 4月23日 在宅療養を支える要素に関する検討
- 5月14日 在宅支援における判断に関する検討
- 5月28日 在宅支援における意思決定に関する検討
- 6月11日 本人の思いの変化に関する検討
- 6月25日 家族の役割に関する検討
- 7月 9日 地域における支援資源に関する検討
- 7月30日 在宅生活の転機に関する検討
- 8月20日 地域・在宅支援のプロセスに関する検討
- 9月10日 地域で生き続けることに関する検討